

令和元年度生徒指導集中対策及び生徒指導実践指定校 「特別活動の取組事例」

学校名	竹原市立竹原中学校	校長	東 秀樹	生徒指導主事	今宮 洋平
-----	-----------	----	------	--------	-------

取組事例名	『討議の時間』
-------	---------

取組における育てたい資質・能力					
-----------------	--	--	--	--	--

人間関係形成		社会参画		自己実現	
「コミュニケーション能力」	1	「共感的人間関係」	2	「主体性」	3

取組のねらい

- 他者の意見を「聴く」こと，自分の意見を「表現する」ことでコミュニケーション能力を向上させる。
- 自分の考えを他者に分かりやすく伝えるために，根拠や理由を明確にして表現する力を高める。
- クラスの中で生徒同士をつなげる。(他者や相手の意見を尊重する。)
- クラスで1つの議題を共有することで，クラスの一体感を醸成する。

取組の具体的内容	取組の創意工夫 『生徒主体』
----------	-------------------

- 朝の学活の時間を使って行う。(年間8回)
- 討議の議題は，生徒会から，または生徒からアンケートを募り，時期や実態に応じて生徒会や代表委員，学年教員で議題を決定する。
- 【留意点】
- ①基本的に，3，4人グループで討議し，一人一役もたせる。(司会，記録，相槌，発表)
- ②グループごとに席をくっつけること。
- ③教師は全体を見て，コーディネートする。(教師が話をしすぎない。討議が盛り上がらない，スタートしないグループを手助けする)。
- ④発表の時は，図や表を使うなどして根拠や理由をはっきりともたせた発表の工夫をする。

- 討議の約束4箇条
 - ・相手を大切にしよう
 - ・積極的に考え参加(発言)する
 - ・理由を添えて発言する
 - ・マイナス発言はしない
- 討議の報告会掲示板



<過去の議題>

- ・自分を大切に，相手を大切にすることはどういうことか。
- ・運動会で全員が気持ちよく終わるには・・・。
- ・竹原中学校の文化祭の「成功」とは？

取組の成果と課題

- ・型・流れを生徒に示すことでうまくいった。
- ・話が脱線するグループもあった。
- ・10分では意見をまとめて，発表までは難しい。
- ・普段，会話がないう生徒同士でも必然的に会話が生まれる。

